

平成11年度

原子力に関する技術的安全と 社会的安心等に関する調査報告書

平成12年 3 月

1. 調査の概要

1. 1 調査研究の目的

現在、原子力発電は、我が国総発電電力量の3割以上をまかない、エネルギー供給において重要な役割を果たす存在となっている。原子力施設は、その安全性について、厳しい安全思想に基づき安全対策がなされているが、原子力の安全性に不安を感じている声は依然として多く、専門家にとっての技術的安全と国民一般にとっての社会的安心とは差異があることが指摘されている。

また、原子力施設の立地については、例えば「Not in my backyard」、つまり、たとえ原子力の必要性を認めても原子力施設が近くに出来ることを忌避するという意識が強い。

そこで、電源地域の視点から、原子力に関する技術的安全と社会的な安心の乖離や、立地地域と電力消費地域の住民意識の相違について調査・検討を行い、問題点・課題を明らかにすると共に、乖離や相違をもたらす要因について調査分析する。

1. 2 調査研究期間

平成11年10月15日～平成12年3月31日

1. 3 調査内容

原子力に関する技術的安全と社会的安心の乖離について、乖離の実状の把握及び乖離の要因の分析を目的として以下の調査を行なった。

(1) 社会的安心等の要因の調査分析

国等が行った世論調査の結果に基づいて、原子力の安全、安心に関する国民一般の意識の現状、及びそれをもたらす要因について調査分析し、乖離の実状とその要因に関する客観的なデータとしてまとめた。

(2) 社会における原子力安全論理の調査分析

「社会における原子力」に関する著書等を対象に、「原子力の安全の社会的認識に関する見解、論理」及び「安全問題で原子力を特別に扱う理由とその根拠」について記載内容を調査分析した。

(3) 調査分析結果のまとめ

上記調査結果に基づいて、乖離や相違の要因及びそれに対する対策についてまとめた。

今回の会議にて配布した資料は多量な資料の為、入手を希望される方は下記3機関において閲覧・複写（有料）に応じております。

●原子力公開資料センター（東京都文京区白山5-1-3-101）

TEL 03（5804）8484 東京富山会館ビル6F

土・日・祝日、10/1日は休館

●未来科学技術情報館（東京都新宿区西新宿）

TEL 03（3340）1821 新宿三井ビル1F

第2・第4火曜日は休館

●サイエンス・サテライト（大阪府大阪市北区扇町）

TEL 06（6316）8110 扇町キッズパーク3F

月曜日、祝祭日の翌日は休館